資料　1

出席番号	AAI 偏差値 5段階評定 1（要注意）	2（要注意）	3	4	5	応答に一貫性がない（Q印）要注意	勉強のことで自分をきびしく見つめているか	5段階評定 A 勉強の意欲	B 勉強の計画	C 授業のうけ方	学習態度（A〜Cの合計）	D 本の読み方ノートのとり方	E 覚え方・考え方	F テストのうけ方	学習技術（D〜Fの合計）	G 家庭の物的環境	H 家庭の心理的環境	I 学校の環境	J 友人関係	学習環境（G〜Jの合計）	K 自主的態度	L 根気強さ	M 不安傾向	N 神経質の徴候	O 身体的健康	精神・身体の健康（K〜Oの合計）	生活の実態 平日の家庭学習の時間 1時間以下	1〜2時間	2〜3時間	3時間以上	平日の睡眠時間 6時間以下	6〜7時間	7〜8時間	8時間以上	どのような方面の悩みをもっているか 家のこと	身体や健康のこと	勉強や学校生活のこと	進学のこと	進路（就職）のこと	友人や異性のこと	その他のこと	バッテリー診断用 新成就値	知能偏差値	学力偏差値
1			47				C	3	3	2	3	3	4	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	2	*2		*					*					*				− 6	55	48
2			53				C	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	2	3	3	3	3	3	2	2	*2			*				*					*				− 4	63	55
3				60			B	4	5	4	4	5	5	4	5	4	4	2	2	3	4	4	3	4	4	4		*					*					*				8	51	59
4			52				A	4	3	4	3	4	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	2	2	3			*			*							*			3	53	55
5		41				Q	B	2	3	3	*2	2	5	2	3	2	4	3	3	3	*1	2	2	*1	2	*1		*						*								7	55	60
6				56			C	3	3	4	3	3	2	4	3	5	4	3	4	4	3	3	5	4	3	4		*						*				*				8	55	61
7				59			B	3	3	3	3	3	3	4	3	3	5	4	4	4	4	4	4	5	5	5		*					*				*					3	45	49
8		40					A	3	2	5	3	3	4	4	3	3	2	*1	2	*1	2	2	2	2	2	*1		*				*					*					− 6	34	33
9		39					C	2	*1	2	*1	3	3	*1	*2	3	3	2	3	*2	2	2	2	4	2	*2		*					*			*			*			− 1	44	45
10		43					B	3	2	3	*2	2	2	3	*2	2	4	2	2	*2	3	4	3	2	3	*2		*				*						*				1	52	52
11				62		Q	B	5	4	4	5	3	5	5	4	3	2	5	3	3	3	4	4	5	5	4			*				*					*				9	65	69
12			53				B	4	4	3	4	3	4	3	3	3	3	3	2	3	4	4	3	4	3	3		*										*				8	55	61
13		39					B	*1	2	2	*1	*1	2	2	*1	3	3	3	2	*2	3	3	4	4	*1	3	*							*		*						−13	51	38
14		39					B	*1	*1	*1	*1	2	2	2	*2	2	3	2	2	*2	3	2	4	4	3	3	*							*			*					− 5	57	50
15			52			Q	B	3	3	3	3	3	4	4	3	3	4	3	4	4	3	3	3	2	3	3		*					*					*				− 4	49	45
16			52				B	4	3	3	3	4	3	2	3	3	4	3	3	3	5	4	2	2	3	3		*					*						*			− 1	40	42
17			52				A	3	3	3	3	3	2	3	3	5	3	2	2	3	5	3	3	4	3	4		*					*					*				− 6	63	53
18			45				C	*1	4	3	3	*1	3	3	*2	4	4	2	*1	3	2	4	3	2	3	3		*				*						*				− 4	45	43
19			48				C	2	*1	2	*2	3	4	3	3	4	3	4	3	3	2	4	4	3	2	3		*					*							*		8	57	63
20		44					C	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	*1	2	*1	3	2	2	3	3	*2		*				*							*			−13	48	36

そこで、この生徒及び8番の生徒は特に担任を中心とした学年全体の中で観察・指導をしていくこととした。

出席番号6の生徒は、検査結果はオーバーアチーバーであり、それなりに適応しており問題はないが、自分をきびしく見つめる点では不十分である。単に検査結果が良く、ふだんの生活に適応している者でも、多方面の検査や観察結果から助言・指導が必要であることを確認した。

更に学年教師会として、次の点を確認し、共通理解を深めた。

①学年全体としては、学習水準の面は良いが、学習態度、学習環境の面にやや問題点を持つ。なお、実施時期が学級編制後の五月であることを考え、現在（七月）とは状況的に差があること。

②科学的調査は、ふだんの観察では得られない資料が多いので、結果の分析を、生徒個々の資料結果まで深め、教育相談や家庭訪問等に生かすこと。

③更にこの結果をもとに、日常の観察を大切にしながら、学校生活全体の中で、全教師の協力のもとに指導の手をくわえていくこと。

なお、この調査は知能・学力と学習適応性のバッテリーを組んだものであり、各内容を総合比較しながら、進路指導や、日常の生徒指導に活用していく必要がある。そのための知能・学力検査結果の分析や指導のための共通理解を図ったが、ここでは省略する。

㈢ 進路相談

○ 進路相談の考え方

相談は、進路情報の提供、自己理解の援助を図る場として重要である。更に、生徒と教師とのラポートの醸成の場、生徒に「やる気」をおこさせる心情的条件の充足を図る場であることをふまえ、相談の具体的機能としては、次のようにおさえている。

◎進路への関心を高める
◎進路の計画をたてさせる
◎目標実現のために意欲化を図る
◎進路選択の能力を伸ばす

○ 進路相談の方針と実際

「いつでも、どこでも、だれとでも」を合い言葉にして、生徒自らの手で諸問題が解決できるように援助して

定期面接（二本松一中）